

カール大帝時代のフランク王国

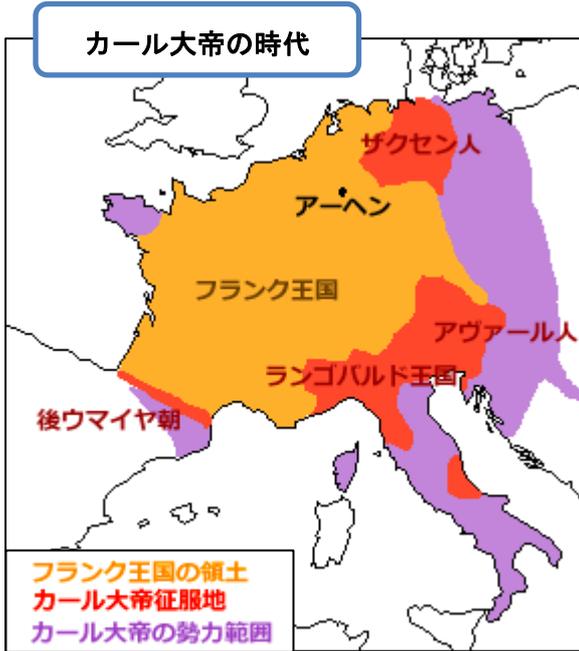
・ピピンの子であり、カロリング朝二代目の王である（ ）の活躍

1. 西ヨーロッパの統一

- ・ランゴバルド王国を滅ぼす→北イタリア支配
 - ・北東ドイツの（ ）を服従させる。
- ゲルマン諸部族を統合、カトリックに改宗させる。
- ・東方からのモンゴル系（ ）を撃退。
 - ・イベリア半島のイスラム教徒(後ウマイヤ朝)と対決。



西ヨーロッパの
大半を統一



2. 内政

- ・全国を州に分け有力豪族を（ ）に任命
 - ・巡察使を派遣し伯を監督
- ⇒広大な領土を集権化して支配

3. 文化政策

- ・キリスト教の布教
 - ・（ ）…カール大帝により進められた古代文化復興運動。
- 都アーヘンにイギリスから（ ）、アインハルト（『カール大帝伝』）などを招く

4. カール大帝の戴冠

- ・800年のクリスマスに教皇（ ）がカールに西ローマ皇帝の冠を与える
- ⇒「西ローマ帝国」の復活

意義

- ・西ヨーロッパ世界の政治的・文化的・宗教的な独立。
- ・ローマの古典古来文化・ゲルマン人・キリスト教が融合した西ヨーロッパ中世世界の誕生。
- ・ローマ教会の東ローマ帝国(ビザンツ帝国)からの独立性の高まり。